
CADWe'll 土木 2013

改善項目一覧



株式会社 **ダイテック**

<http://www.daitec.co.jp/>

平成 24 年 11 月吉日

ごあいさつ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたびは弊社 CADWe'll 土木 2013 をご導入いただき、心よりお礼申し上げます。

本製品は日頃よりお寄せいただいておりますお客様の声にお応えするべく、機能アップ、機能改善などを組み込んだ製品としてリリースいたしました。新たに加わった機能をお使いいただく場合はもとより、従来からご提供している機能のみをお使いになる場合におきましても、旧バージョンよりも効率的で安心して本製品をご利用いただけるものと確信しております。

本冊子では、前バージョン CADWe'll 土木 2012 からの機能改善に関して説明しております。すでに CADWe'll 土木シリーズをお使いのお客様におかれましては、どのような機能が追加されたのか、何が変更になったのかを素早くご理解いただける内容となっております。また、製品のポテンシャルを最大限引き出し、お客様の業務効率化に役に立てていただくために、本冊子を是非ご一読いただくことを全ての利用者様にお奨めします。

今後ともお客様のご期待に添えるソフトウェア開発に全社一丸となって努めて参る所存でございますので、弊社 CADWe'll シリーズを末永くご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

CONTENTS

1. シート・レイアウト複写について	1
2. ビューポートについて	2
3. シートの表示状態変更について	3
4. 他図面挿入について	3
5. クリップボードのコピー/貼り付けについて	4
6. お知らせ機能について	4
7. 路線作図	5
8. 横断図	6
9. 面積表	8
10. CAD 製図基準、電子納品サポート	9
11. 図形編集ハンドル	10
12. TS 出来形	11
13. その他機能	12

CADWe'll 土木 2013 改善項目一覧

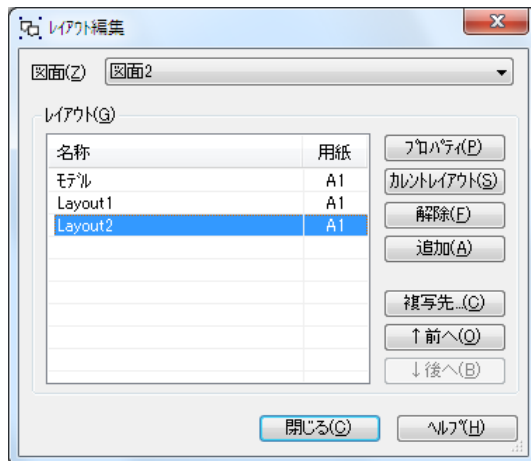
CADWe'll 土木 2012 から、以下の 31 項目の改善を行いました。

1. シート・レイアウト複写について

(1) 「シート」を任意の「レイアウト」へ、または「レイアウト」を任意の「図面」へ複写できるようにしました。

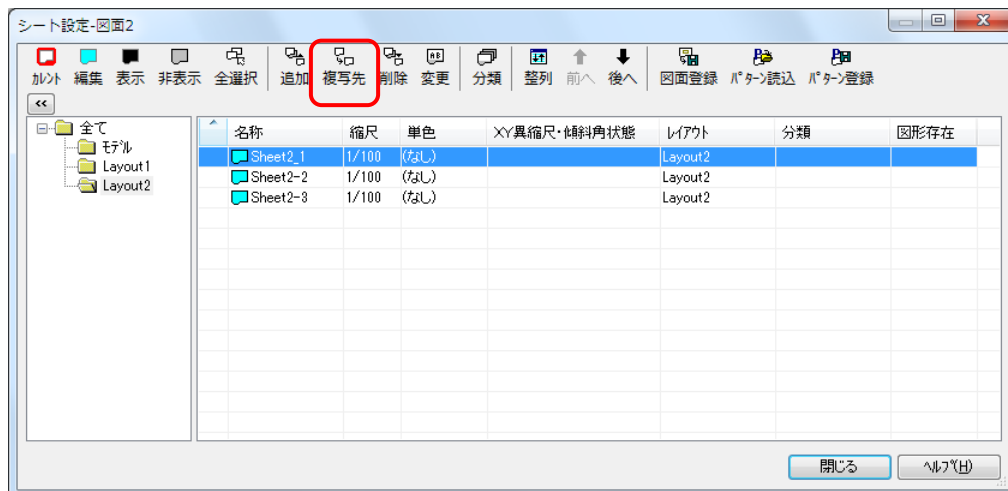
- ① レイアウト編集[#1]に複写機能を追加しました。レイアウト単位で、任意の図面へ複写することができます。

[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[レイアウト編集]の【レイアウト編集】ダイアログ



- ② シート設定[#2]の複写機能を拡張しました。他レイアウトまたは他図面への複写ができます。ビューポートシートをレイアウトに複写した場合は、その設定を保持したまま複写します。ビューポートシートをモデルへ複写した場合は、ビューポート内に表示されている図形を実図形化します。

[#2]メニューバー[設定]-[シート機能]-[設定]の【シート設定】ダイアログ



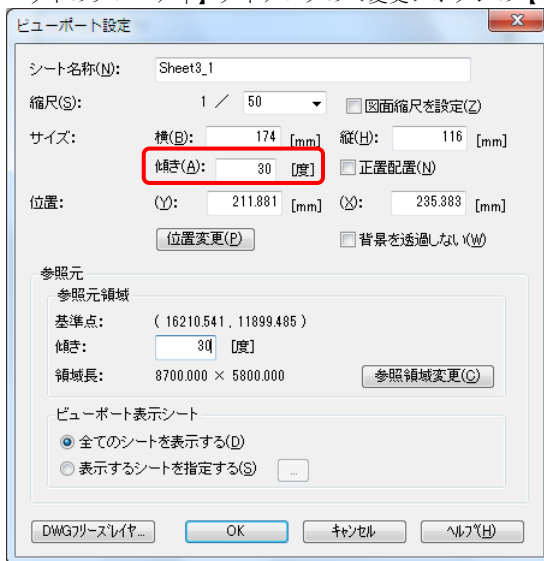
2. ビューポートについて

- (1) ビューポート枠の移動・拡大縮小^[#1]の操作手順を見直すと共に、移動時の基準点指定、任意角回転、次選択機能を追加し、編集操作を向上しました。

[#1]メニューバー[設定]－[シート機能]－[ビューポート枠移動拡大縮小]


- ① ビューポートと図形を区別せずに選択を行い、そのまま移動・拡大縮小操作へ移行できるようにしました。また、モデル側に表示される“ビューポートの参照元枠”も選択対象となり、ビューポートと同様に移動・拡大縮小できるようにしました。
- ② ビューポートと図形が選択された状態で<Enter>入力することで、任意の基準点を指定して移動できるようにしました。
- ③ ビューポートを任意の角度で回転できるようにしました。選択時に表示される“回転ハンドル(緑丸)”またはビューポート設定^[#2]で操作できます。

[#2]メニューバー[設定]－[シート機能]－[レイアウト編集]の【レイアウト編集】ダイアログの<プロパティ>ボタン－【レイアウトのプロパティ】ダイアログの<変更>ボタンの【ビューポート設定】ダイアログ



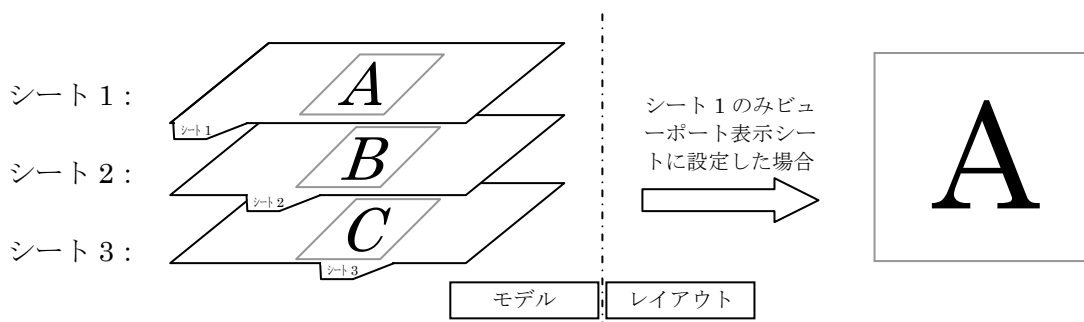
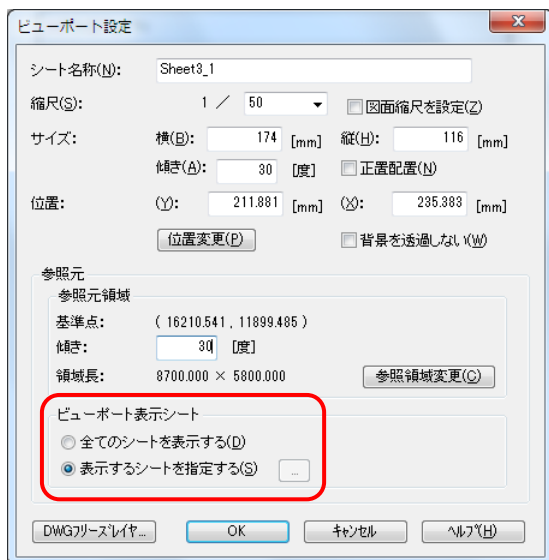
- ④ ビューポート選択時に次ピックできるようにしました。

- (2) <<新規コマンド>>[通り芯配置]コマンド^[#3]を追加し、ビューポートに一部が表示されている通り芯をビューポートシート上に実体化することができるようにしました。これにより、通り芯バルーンの仮表示がビューポートシート上でも確認できます。

[#1] ツールバーカスタマイズ「設定」分類にある[ビューポートー通り芯配置] 

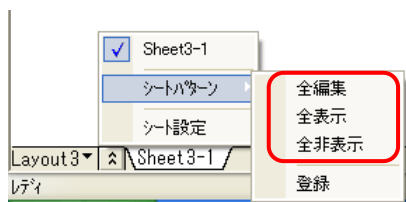
- (3) ビューポート表示シート[#4]を追加し、ビューポートごとに表示するシート、表示しないシートを設定できるようにしました。

[#1]メニューバー[設定]-[シート機能]-[レイアウト編集]の【レイアウト編集】ダイアログの<プロパティ>ボタン-【レイアウトのプロパティ】ダイアログの<変更>ボタンの【ビューポート設定】ダイアログ



3. シートの表示状態変更について

- (1) シートパターンメニューに、シートの表示状態変更機能（全編集、全表示、全非表示）を追加し、カレントレイアウト（またはモデル）に所属するシートの表示状態を一括で変更できるようにしました。



4. 他図面挿入について

- (1) ≪新規コマンド≫指定した他 CAD 図面を、既にかいている図面に直接配置する[#1]ことができるようになりました。従来よりも少ない手順で図面間複写に相当する処理を実行できます。

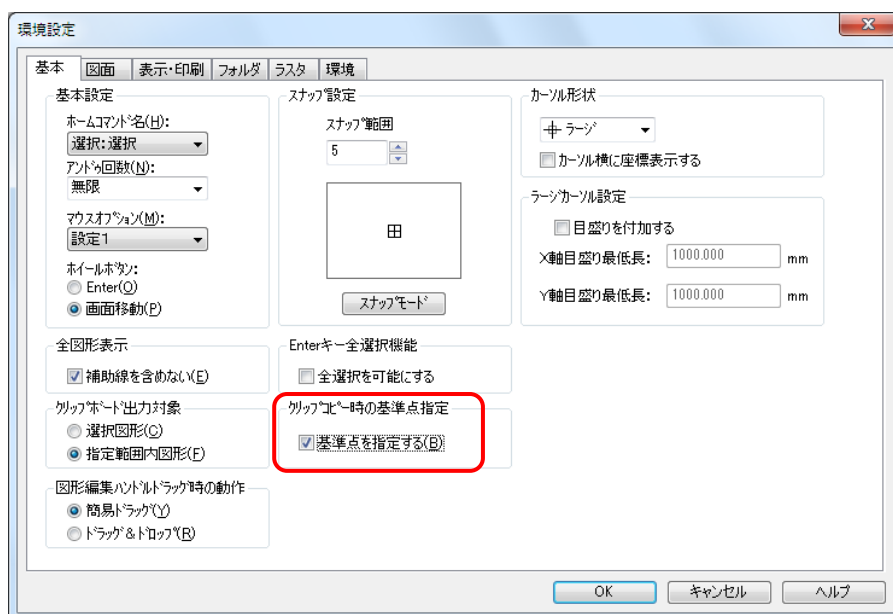
[#1]ツールバーカスタマイズ「ファイル」分類にある[他図面挿入]

5. クリップボードのコピー/貼り付けについて

- (1) クリップボードへのコピー[#1]の際に、貼り付け基準点を指定できるようにしました。基準点の指定有無は環境設定[#2]にて指定します。

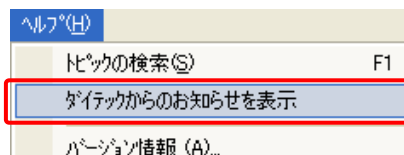
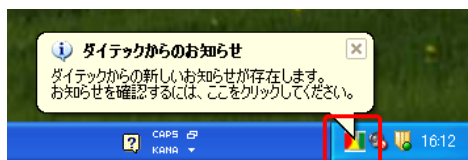
[#1]メニューバー[編集]→[コピー]

[#2]メニューバー[設定]→[環境設定]の[基本]タブ



6. お知らせ機能について

- (1) ダイテック CAD 製品のアップデートモジュールが入手可能になったことをユーザが自動的に知ることができるようになりました。「タスクトレイ」または「ヘルプメニュー」から確認できます。



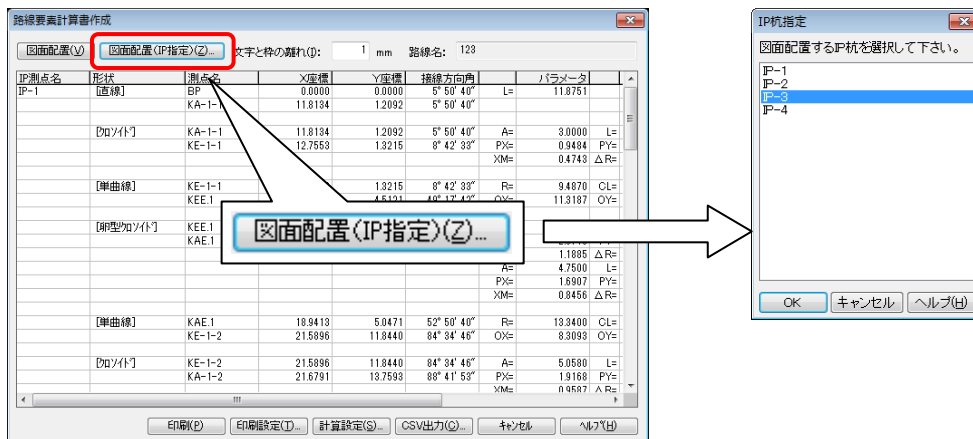
7. 路線作図

(1) 路線作図の要素法で卵型クロソイドを指定[#1] できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[路線]-[作図] の【要素法路線設定】ダイアログの<線形>列

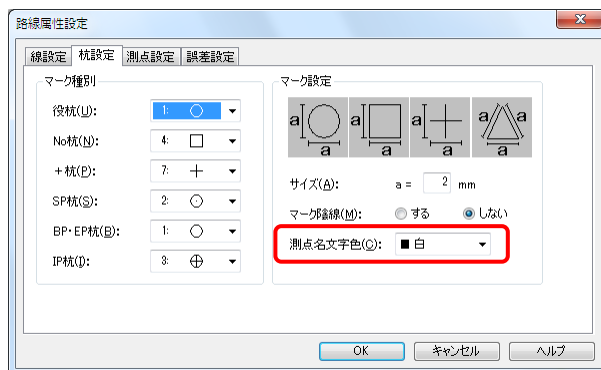
(2) 計算書作成の路線要素[#1]で IP 指定の要素表を作成できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[計算書作成]-[路線要素] の【路線要素計算書作成】ダイアログの<図面配置(IP 指定)>ボタン

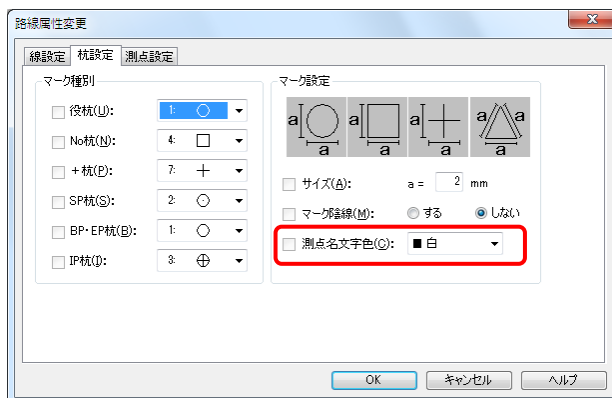


(3) 路線作図で測点名文字色を設定[#1]、変更[#2]できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[路線]-[設定] の【路線属性設定】ダイアログの[杭設定]タブ

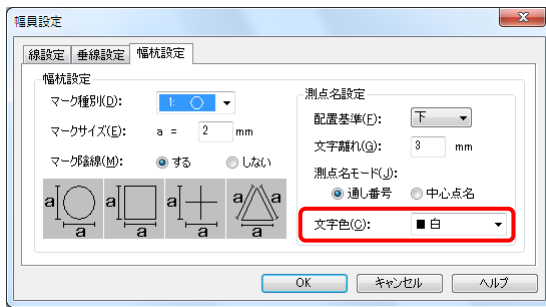


[#2]メニューバー[道路]-[路線]-[属性変更] の【路線属性変更】ダイアログの[杭設定]タブ

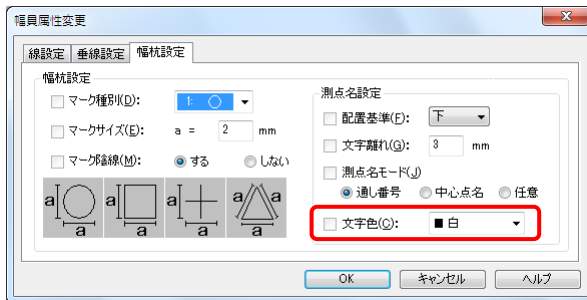


(4) 幅員作図で測点名文字色を設定[#1]、変更[#2]できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[幅員]-[設定] の【幅員設定】ダイアログの[幅杭設定]タブ



[#2]メニューバー[道路]-[幅員]-[属性変更] の【幅員属性変更】ダイアログの[幅杭設定]タブ



(5) 路線作図の杭選択[#1]で取得した座標を、リストのカーソル位置に挿入できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[路線]-[作図] の【IP法路線設定】ダイアログ

8. 横断面

(1) 横断面の設定値を保存、読み込み[#1]できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[道路横断面]-[設定] の【横断面設定】ダイアログ



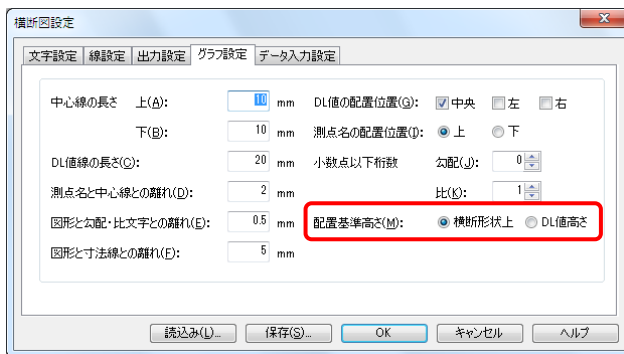
(2) 横断図データ入力で杭を選択[#1]できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[道路横断図]-[作成] の【データ入力】ダイアログ



(3) 横断図の配置で DL 高さを基準に配置位置を指定[#1]できるようにしました。

[#1]メニューバー[道路]-[道路横断図]-[設定] の【横断図設定】ダイアログの[グラフ設定]タブ



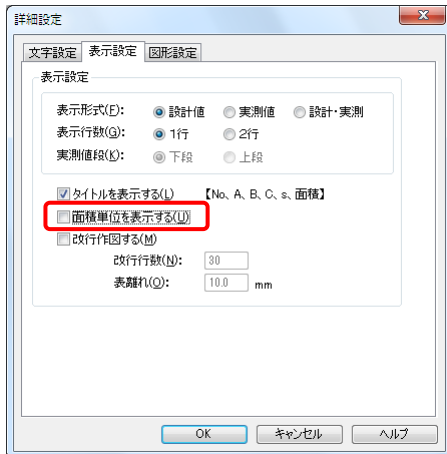
9. 面積表

(1) 切盛面積表[#1]作成時に異なる図面上の基本面積表を選択できるようにしました。

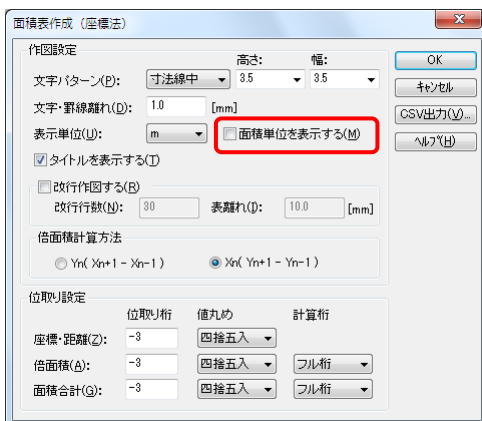
[#1]メニューバー[測量]－[基本面積表]－[切盛面積表]

(2) 面積表[#1]および座標法面積表[#2]において、面積単位を面積表右上に表示できるようにしました。

[#1]メニューバー[測量]－[面積表]－[作成] の【詳細設定】ダイアログの[表示設定]タブ

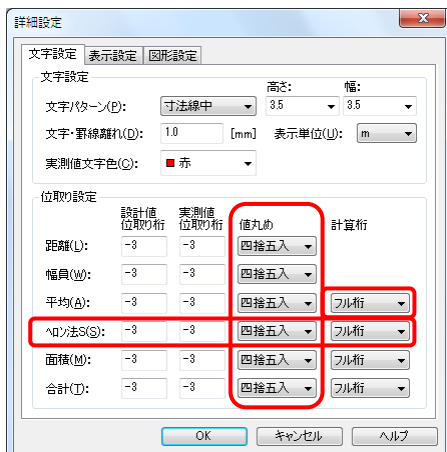


[#1]メニューバー[測量]－[座標法面積表] の【面積表作成(座標法)】ダイアログ



(3) 面積表[#1]および座標法面積表[#2]において、位取り設定を改善しました。

[#1]メニューバー[測量]－[面積表]－[作成] の【詳細設定】ダイアログの[文字設定]タブ



[#2]メニューバー[測量]–[座標法面積表]の【面積表作成(座標法)】ダイアログ



10. CAD 製図基準、電子納品サポート

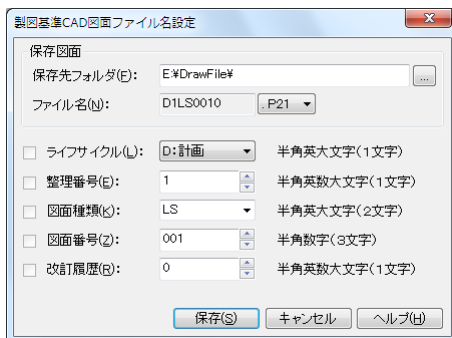
(1) <<新規コマンド>>レイヤ名称の責任主体を簡易に変更^[#1]する機能を追加しました。

[#1]メニューバー[ツール]–[製図基準]–[責任主体変更]



(2) <<新規コマンド>>CAD 製図基準に準拠したファイル名称で簡易に図面保存^[#1]できる機能を追加しました。

[#1]メニューバー[ファイル]–[製図基準の名前を付けて保存]



- (3) <<新規コマンド>>SXF 属性が設定されている図形を一覧表示#1する機能を追加しました。また、一覧をダブルクリックすると、その属性を確認することができます。

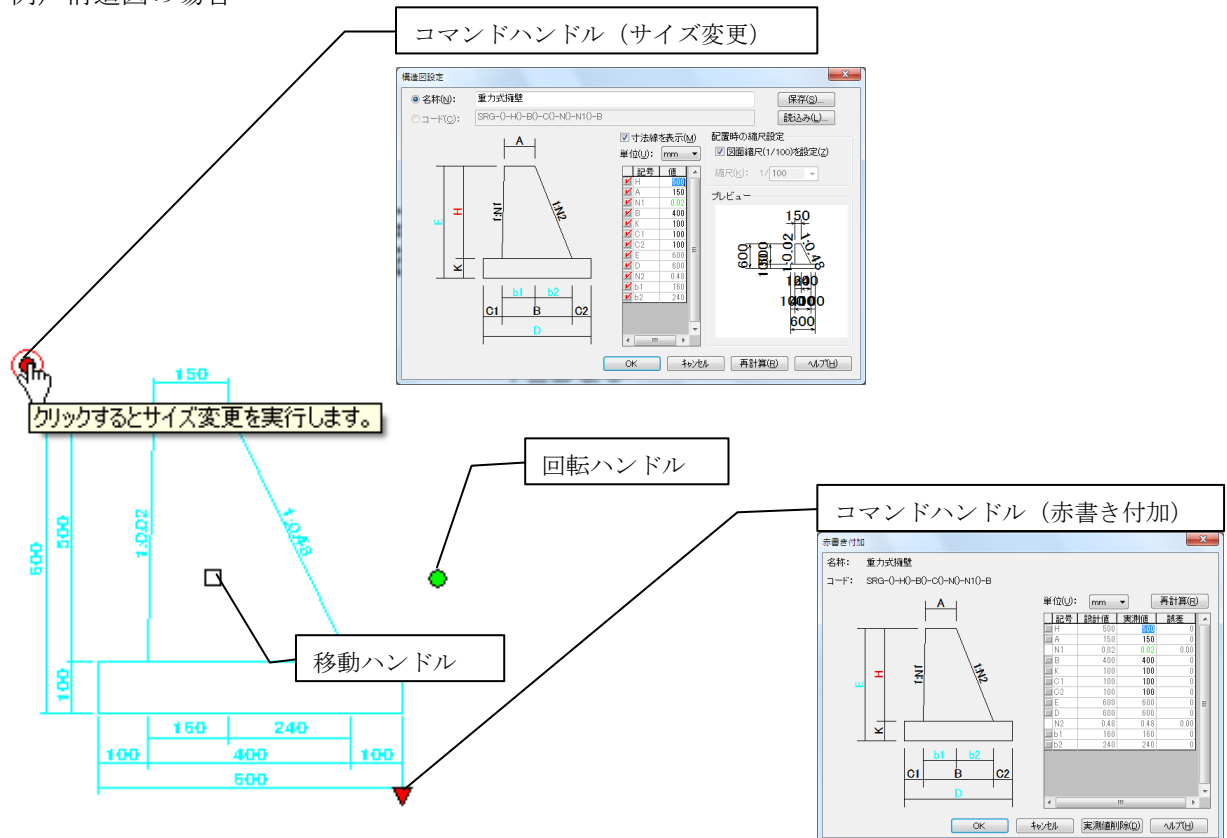
[#1] ツールバーカスタマイズの「SXF」分類にある「SXF 属性-図形一覧」



11. 図形編集ハンドル

- (1) 土木図形の編集ハンドルから修正コマンド等を起動できるようにしました。

例) 構造図の場合



12. TS 出来形

- (1) 基本設計データ作成コマンドで土木ファイル（路線[#1]、縦断[#2]、横断[#3]）を出力できるようにしました。
そのファイルを各々の機能で変更し、再度同コマンドで読み込むことで基本設計データを変更します。

(ア) 路線情報ファイル (*.CNI) の出力

[#1]メニューバー[その他]→[TS 出来形管理]→[基本設計データ作成] の【基本設データ作成】ダイアログの<平面線形>ボタン
→【平面線形情報】ダイアログの<路線ファイル保存>ボタン

主要点	線形要素	追加距離	X	Y	方向	R1	R2	A	要素長
BC.1	開始点	0.0000	-282.4393	-1142.5881					
EC.1	円弧	16.8611	-294.0296	-1130.3439	右回り	400.000			16.8611
KA.1-1	直線	30.1090	-302.9320	-1120.5330					13.2479
KE.1-1	クローン	80.7340	-334.8930	-1081.3451	右回り	0.000	160.000	90.000	50.6250
KE.1-2	円弧	88.1119	-338.7844	-1075.0777	右回り	160.000			7.3779
KA.1-2	クローン	138.7369	-359.7315	-1029.0515	右回り	160.000	0.000	90.000	50.6250
KA.2-1	直線	333.7842	-431.0587	-847.5140					195.0473

(イ) 縦断ファイル (*.VRT) の出力

[#2]メニューバー[その他]→[TS 出来形管理]→[基本設計データ作成] の【基本設データ作成】ダイアログの<縦断線形>ボタン
→【縦断線形情報】ダイアログの<縦断ファイル保存>ボタン

測点名	追加距離	変化点標高	VCL	VCR
No.7+5.000	75.0000	119.050		
No.8	90.0000	119.028	0.0000	0.000
No.9	90.0000	119.011	0.0000	0.000
No.10	100.0000	119.995	0.0000	0.000
No.12	120.0000	119.014	0.0000	0.000
No.14	140.0000	119.062	0.0000	0.000
No.16	160.0000	119.163	0.0000	0.000
No.18+5.000	165.0000	120.149		

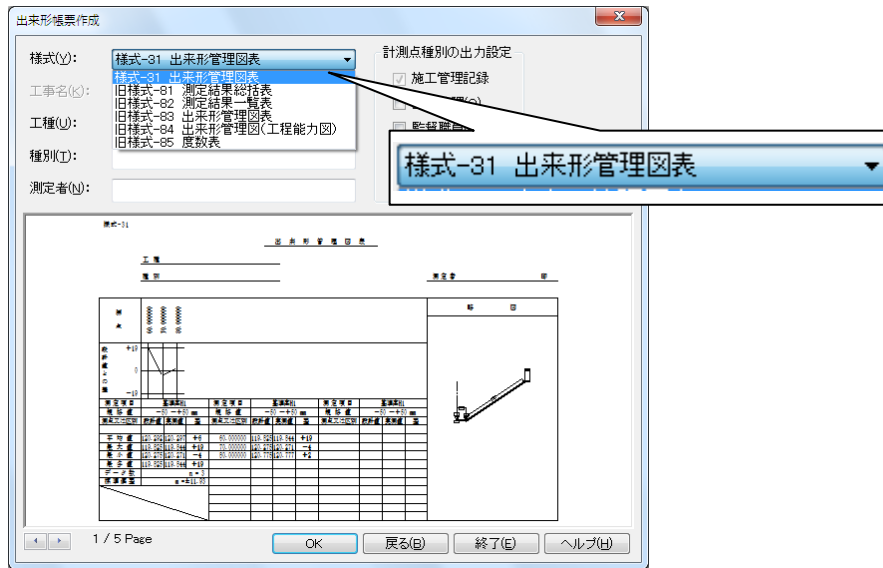
(ウ) 横断ファイル (*.HZT) の入出力

[#3]メニューバー[その他]→[TS 出来形管理]→[基本設計データ作成] の【基本設データ作成】ダイアログの<横断面形状>ボタン
→【横断センター高】ダイアログの<横断ファイル読み込み>ボタン / <横断ファイル保存>ボタン

断面名	追加距離	現地標高	計画高
No.8	80.0000		119.0280
No.9	90.0000		119.0110

- (2) 平成 23 年度の土木工事共通仕様書の改定に伴う新規帳票様式 31（出来形管理図表）^{【#1】}を出力できるようにしました。

【#1】メニューバー[その他]-[TS 出来形管理]-[帳票作成] の【施工管理データ】ダイアログの<帳票データ>ボタン-【出来形帳票データ】ダイアログの<帳票作成>ボタン-【出来形帳票作成】ダイアログ



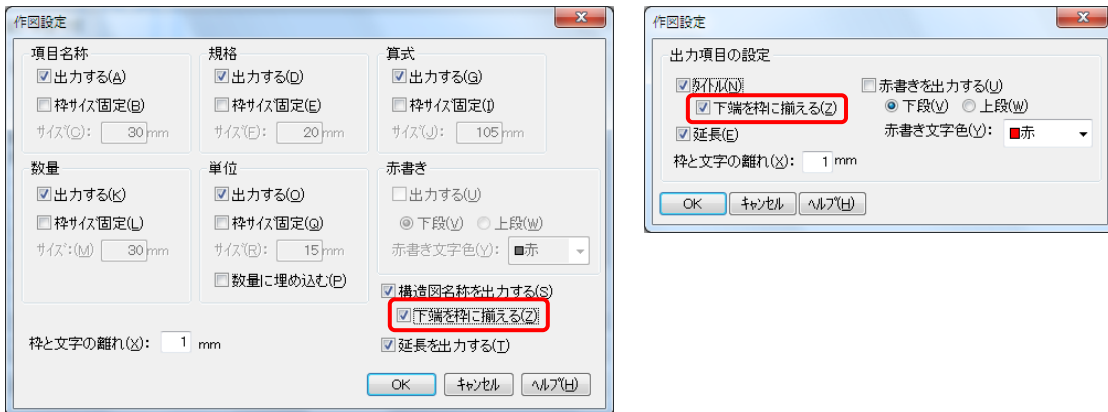
13. その他機能

- (1) 構造図の数量計算書^{【#1】}、計算書変更^{【#2】}で構造図名称と延長の位置揃えができるようにしました。また、合計表^{【#3】}でタイトルと延長の位置揃えができるようにしました。


【#1】メニューバー[構造]-[数量表]-[数量計算書]の<作図設定>ボタン

【#2】メニューバー[構造]-[数量表]-[計算書変更]の<作図設定>ボタン

【#3】メニューバー[構造]-[数量表]-[合計表]-【項目設定】ダイアログ-【合計表作成】ダイアログの<作図設定>ボタン



- (2) 表文字出力^{【#1】}でグループ図形化された表を 1 つの表として認識し、出力できるようにしました。

【#1】ツールバーカスタマイズの「ツール」分類にある[表文字出力] 


- (3) <<新規コマンド>>線分長を指定して線分図形を伸縮^{【#1】}できる機能を追加しました。

【#1】メニューバー[図形編集]-[トリム]-[線分長]

- (4) <<新規コマンド>>長さを指定して線分を作図^{【#1】}できる機能を追加しました。


【#1】メニューバー[作図]-[線分]-[始点線分長]

- (5) ≪新規コマンド≫簡易な表を作成^{〔#1〕}できる機能を追加しました。

〔#1〕ツールバーカスタマイズの「ツール」分類にある[表作成] 



- (6) ≪新規コマンド≫図面上の数値文字を加算^{〔#1〕}して文字出力できる機能を追加しました。

〔#1〕ツールバーカスタマイズの「ツール」分類にある[数値加算] 

以上

版番号：1